Quarterly News Letter ₹刊=ユースレター

Vol.5



Spring 2005 スポーツ界の新たな一歩。 Take a Step Forward! [特集] タレント発掘 [クローズアップ] JISS心理グループ紹介 浅見センター長 退任にあたって



0000 totoの収益による助成が、 日本のすべてのスポーツをアシストしています。 6.8 18.4 24 5.9



**International Year** of Sport and **Physical Education** 

www.un.org/sport2005

国連は、2005年を 「スポーツと体育の国際年」 と位置づけています。





独立行政法人 日本スポーツ振興センター スポーツ振興事業部 http://www.naash.go.jp/toto

季刊ニュースレターJISS Spring 2005 平成17年3月31日発行 (年4回発行)

〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1 http://www.jiss.naash.go.jp/

## 地域とJOC-JISSの連携で進める ジュニア発掘・育成プロジェクト

団体の競技者育成プログ

S S k

ム立案における留意事項タレント発掘・育成プログラ

つねに道徳的な行動をとる

て活動を行っています。また、理グループメンバーが協力しした講習会の開催などなど心

子の作成、競技者個人を対象と

侵襲的なテスト方法を避け

ー連携がPathwayをつくるー

力なプログラムである。

点においても非常に重要かつ強に、JISSと地域が連携する 供を行うことが示されている。 は、我が国の国際競技力上の取 タレント発掘・育成プログラム

Western

Coordinator

福岡県タレント発掘事業

始まった福岡県のタレント発掘— そんななか、平成 16年度から

の方向性を示すものとしては我が国のタレント発掘の

ような状況である。

体的な動きは十分とはいえない

の、国内全体で見ると具

タレント発掘プロジェクトリーダー 和久貴洋(スポーツ情報研究部)

獲得効果は一時的。組織的な努を示した。「スター選手のメダル 課題を強調し 向上したかを判断するには、な日本の実力が全体的にどの程度 基本的な要因と分析する一方で 活力に満ちた優秀な若手」が起 力と各部門の協力こそ重要」と お数年を要する、と慎重な見方 たことが、日本の躍進

この課題に関して、スポーツ振興基本 あるとともに、我が国及び地域国際競技力向上の長期的戦略で することは不可欠である。タレ発掘し、組織的・計画的に育成 的事業である ント発掘・育成プログラムとは 素質ある有望な競技者を ーツ振興基本計画には 国際競技力を維持するた ・ツ振興の 面からも戦略

連携し、優れた素質を有する競者の発掘手法に関する調査研究ムの内容を考慮した上で、競技 技者に関する情報の収集及び提 ることへのネガティブなイメー出し、特別なプログラムを与え第3は、一部の人材を見つけ れているが、Talents 香港、ニュージーランド、中国、現在、オーストラリア、イギリス、 ジである。スポ メリカなど、世界各国にお

非現実的な期待を与えない

るために必要な情報

ンスを発揮できるように様々者が試合で最高のパフォーマこうした活動をとす!

が試合で最高のパフォーマりした活動をとおして、競技JISS心理グループでは、

技者のために何ができるのか

成段階では、総合的にア

チすること

チャンスを与えることーし かし、保証はしな

りも現在進めて

全国的な心理サ

りも現在進めているところです。リークの構築に向けて、基盤作至国的な心理サポートネット(活動を行っています。また、

を掲載している。「視野が開かれ、台頭の原因」と題する論評記事 紙・新京報は「日本のスポーいていた8月18日、中国の日

が困難であった。しかし 競技団体、及びJ地域の関係機関、 方で、 り解決することできる。 その先の道筋を作 とした事業展開はしやすいが 題である。地域では国体を頂点 一貫して育成する道筋 (Pathway) いに連携・協働することによ 第1の壁は、 roots) からトップまで 央の関係団体では つくるかと o O I JOC、中央 ·すること

当しています。その内訳は、メ異なる専門的なスタッフが担ポートは、バックグラウンドのそれぞれの部門におけるサ

を進めて

うことを目的としてサポ題に対して自己方向づけ

貫した競技者育成プログラムの競技団体等が中心となって、一 ていた。しかし、いまや、スポートータルなプログラムが欠如しラムを提供して育成するという 作成が進めら それぞれの段階で適切なプログ プまで一貫した理念に基づいて、 貫性である。ジュニア 第2は、育成プログラムの一 から

績を残しました。 のうちの 3名が入賞以上の成

た競技者の中からは、アテネオ・心理サポートを個別で行っ

リンピックに4名が出場し、

のメンタルトレ

その他、「アスリ

- 」「勝つヒント

ルタルの壺~ J といった冊勝つヒント~アテネで実ンタルトレーニング・ガイの他、「アスリートのため

ト教育」への抵抗感である。 ーツにおける「エ グラムが展開さ ドである。

必要と考えた理由は何です きたが、 さ 、大きな壁に阻

う明確な目的のもとに、目標設ーニングは「競技力向上」とい動をしています。メンタルトレ

定やリラックス法、イ

ーニングといった心理的技

動をしています。メンタルトレグ部門に分かれてサポート活ーニング部門とカウンセリンるために、大きくメンタルトレは、選手の幅広い要望に対応す

上げることにしたのですか?Qなぜタレント発掘事業を立ち

地域の ジュニア

への現在のチャレンジは、10年後の国場が、"今よこにある。10年後の国現場が、"今よこにある。タレスポーツ振興のための戦いののスポーツ振興のための戦いののスポーツ振興のための戦いののスポーツ振興のための戦いのの現在のチャレンジは、10年後の国 Gulbin氏が示した世界のスポーツで成功するための方程式である。世界で活躍するトップ競技者は10年という時間をかけて育てていくものであるという。いまから9年後の2014年、11年後の2016年のオリンピッ レント発掘コーディ クで活躍するであろう選手は、 仮に向けた戦いでへの現在のチャー ストラリア) のナショナル ネ

岡県の小学4~5年生9万5 福岡県タレント発掘事業は、福 人に夢とチャンスを与えた。 掘・育成プログラム、我が国で初めての

法の指導を中

心に行ってお

カウンセリングは競技

う上での様々な課題

 $X=2\times7\times50\times10.$ AIS(才

名、外部協力者1名、また、カ約研究員3名、非常勤研究員2

ンタルト

究員2名です

ング部門

,(平成16年度3)部門が非常勤研



対処するために、

レン制をデニープでは、我が国のトップするために、JISS心理

レベルの競技者に対

し、心理サ

そうした選手の問題や課題に

連携・協力体制を強化するとと ツ振興に関する意識を変革し、 スポーツ関係者 (団体) 等のスポ 内のすべてのがあります。 県内の体育 ためにはJISSやJOCとのン福岡となる必要がある。その提供することができるアクシオ 県あるいは九州からオリンピッA福岡県と国がつながることで、 連携が必要です。 医・科学支援システムや最先端ベルの競技者に対するスポーツ 築できると考えました。 の各地でタ ク選手を輩出できる仕組みを構 イス頂けますか また、そのためにはトップレ レーニング方法等最新の情 レント

ないこと。そうすれば、スポースがならないことを避けて行った。 ち上げようという動きが活発に 国の方に事業成功の秘訣をアド 振興を行う上で抱えるさまざ Q最近、福岡県をモデ A事業実施のために、

が打ち出したスポー平成12年9月に立 月に文部省(当時)

スと伸びる可能性を与

県の競技力の恒久的な維持・向 掘事業をきっかけに、 そして最後は、このタ へも寄与できると考えました このことは生涯スポー を高めることにつながります ことは県民のスポー システムを構築することは ことです。2つめは競技者えることができるという ることが可能となる、 身の競技者が活躍する ・ツへの関心 - ツの振興

図ることができると考えました。 もにそれら団体の育成・支援を 発掘事業を実現

体での取り組みが始まりつつあ掘についてはいくつかの競技団テムで育成されるタレントの発

出始めている。しかし、このシスなっており、徐々にその成果はを目処にそれを完成することと

テムに関してはJ

OCが中心と

各競技団体が平成 17年度

策の重要な柱

られている。一貫指導シス重要な柱の一つとして位置

ステムにより育成することは国

際競技力向上の総合的な向上方

る競技者を発掘し、

画の中で、優れた素質を有す

**ることができなかったでしょう。** 内の関係機関や関係者を説得す 事業を実施しようとしたら、県 ンがなく、闇雲にタレント発掘を持っていたことです。ビジョ 絵に描いた餅に終わらせず、具二つめは策定された基本計画を るなど、きちんとしたビジョン県体協が「振興プラン」を策定す できた鍵はなんだと思いますか? Aこれには2つの理由を考える ツ振興基本計画」を、また、 つめは県が「ス ·発掘

っていても、「どうやって強化心理面の強化の必要性が分か

かわからない」とい

ることが容易ではありませ

ことが難-

にここまでの活動を振り返って、康科学課長である田中眞太郎氏

ひとりであるアクシオン福岡健 は実際にこの事業を立ち上げ 非常に注目を浴びている。今回

事業を立ち上げるに至った経緯

発掘事業を立 行わなけ

## 「クローズアップ] JISS心理グループ









「こころ」は、客観的に捉える